

疫学学び直し講座

－健康や生活習慣に関わるデータを有効活用するには？－

本講座は、地域における健康の状況や問題を疫学の観点から分析・評価し、健康の保持や増進に役立てることを目的とします。地方自治体にお勤めの方に向けて、疫学（横断・縦断研究など）の基本をお教えします。そして、講師が携わってきた研究や経験をお話しします。これを踏まえ、地方自治体が所有するデータの活用を目的とした疫学の講義やデータ解析の相談会を行い、データの活用方法の修得を目指します。

日時 2025年 6月7日(土)9:30～12:30・7月26日(土)9:30～12:30・8月2日(土)9:30～12:30

会場 県立広島大学 三原キャンパス4号館6階4601室

募集対象 健康に関わる施策や対策に関わる方

定員 15人

受講料 無料

第1回 6月7日(土)9:30～12:30 講師：飯田 忠行 教授

疫学の手法とは？？

横断・縦断研究、縦断研究の中でも症例対照やコホート研究を概説します。そして、疫学研究から得られる指標として、疾病の頻度および曝露効果の指標について、詳しく説明します。

第2回 7月26日(土)9:30～11:00 講師：岡田 ゆみ 教授

知って納得！疫学ワンポイント講座

調査により観察された結果は、必ずしも「真の値」を示している訳ではありません。この回では、誤差（バイアス・交絡）について扱います。また、疫学ではどうやって因果関係を立証しようとしているのかについて説明してきます。

第3回 7月26日(土)11:00～12:30 講師：俵 志江 准教授

データの見方・データの見せ方

データを集めて集計する段階では、何を読み取ることができるかは必ずしも明らかではありません。データ収集の目的に沿った「データの見方」と、他の人に伝えるために表やグラフにする「データの見せ方」について説明します。(事前に興味のある分野や内容をお聞きます。)

第4回 8月2日(土)9:30～12:30 講師：飯田 忠行 教授、積山 和加子 准教授、村尾 夏実

データの利活用を目指したグループディカッション

竹原市の骨対策、尾道市のするバリーハビリ体操の効果検証を概説します。その後、各自治体で健康に関する課題をテーマとして、考えうる効果検証方法および交絡について5名程度のグループディスカッションを行います。グループディスカッションを踏まえた統計解析方法を教示します。

申込方法・申込先【申込期限：5月23日（金）まで】

下記のURLまたは右のQRコードをご参照のうえ、リンク先の申込フォームからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/tsN13jmdua>



講座に関する問合せ・連絡先：県立広島大学 保健福祉学部 保健福祉学科（代表者：飯田 忠行）
☎0848-60-1196 ✉iida@pu-hiroshima.ac.jp

主催：県立広島大学 次世代健康支援研究センター

共催：尾道市、竹原市